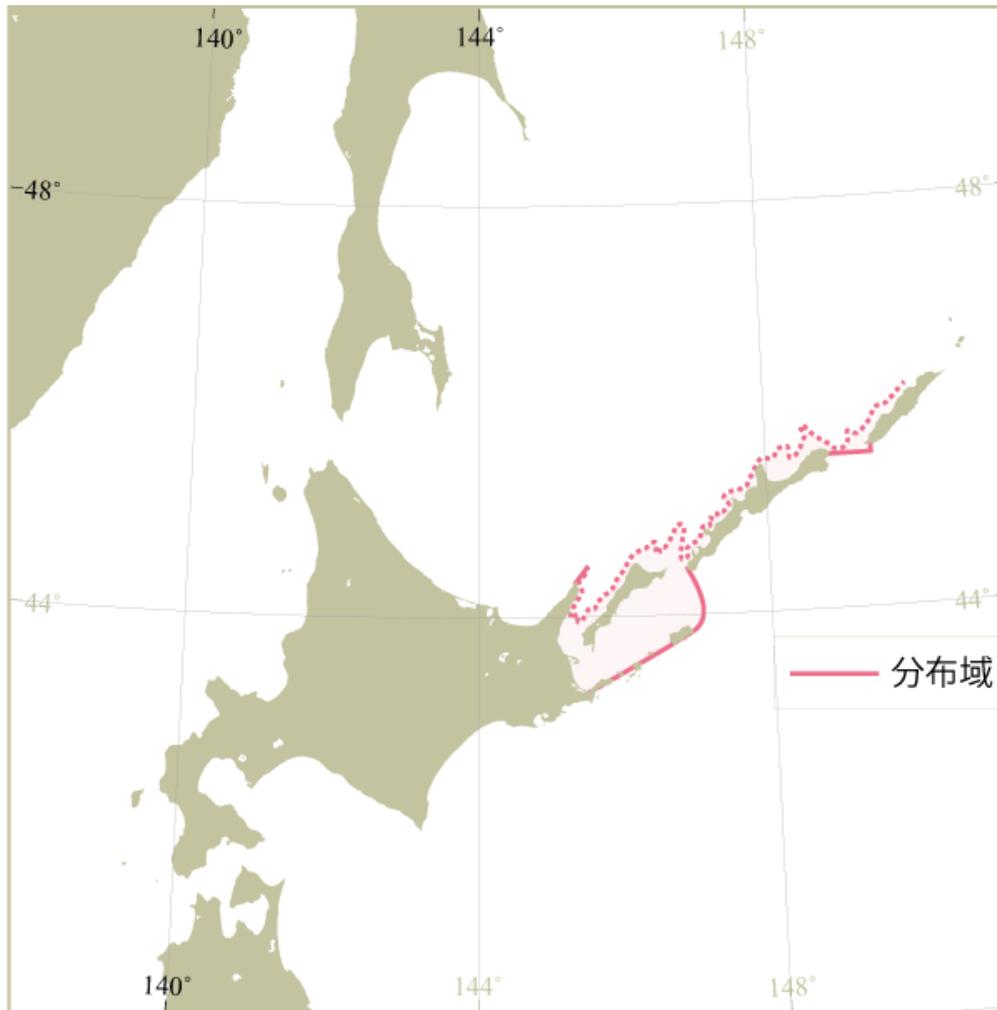




# マダラ根室海峡 令和5年度資源評価結果

# 生物学的特性

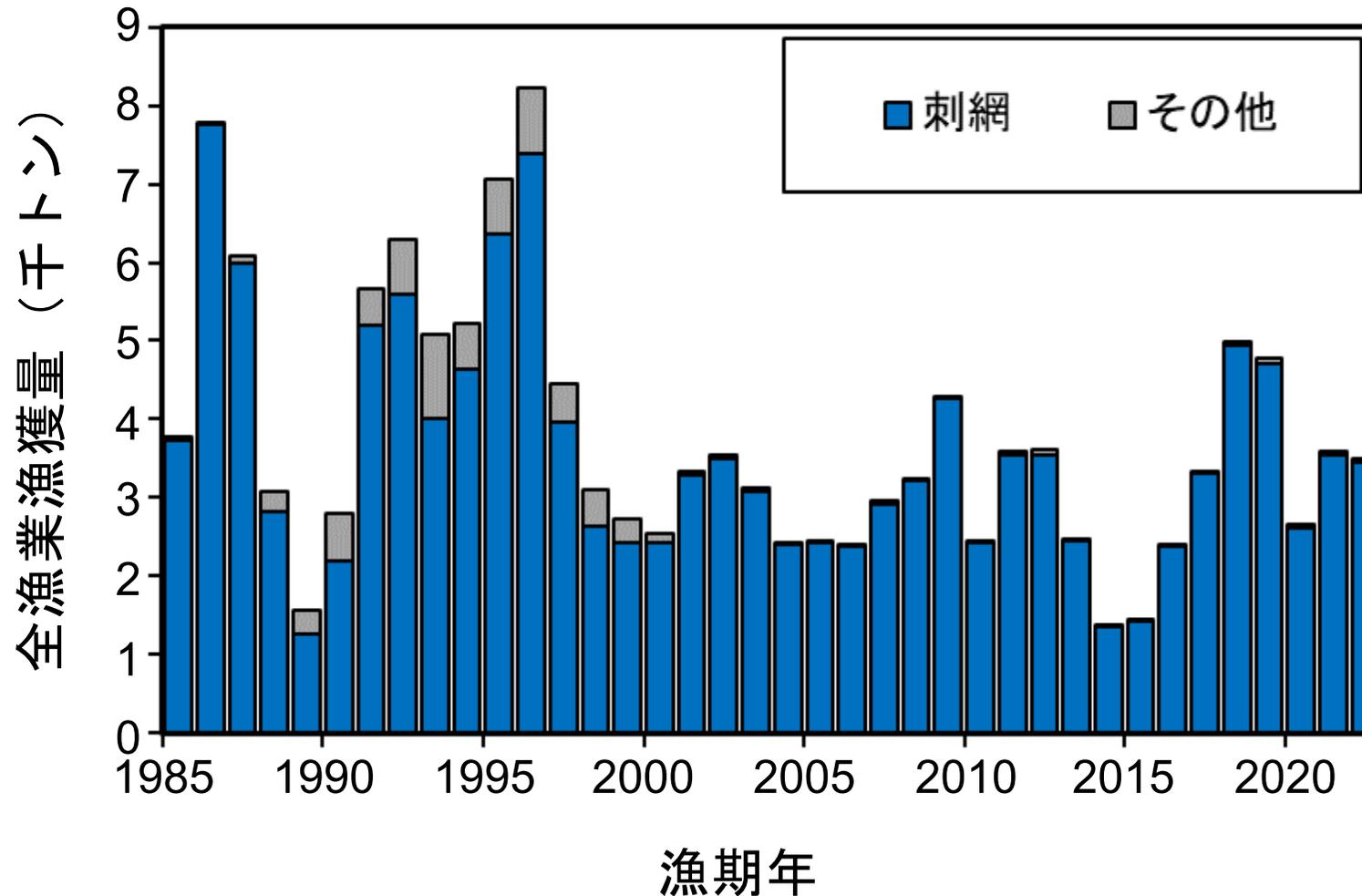


## 生物学的特性

- 寿命：不明
- 成熟開始年齢：不明
- 産卵期・産卵場：不明  
産卵場は沿岸域に散在していると考えられる
- 食性：幼魚期は主にカイアシ類、底生生活移行後は、主に魚類、甲殻類、頭足類、貝類
- 捕食者：海獣類

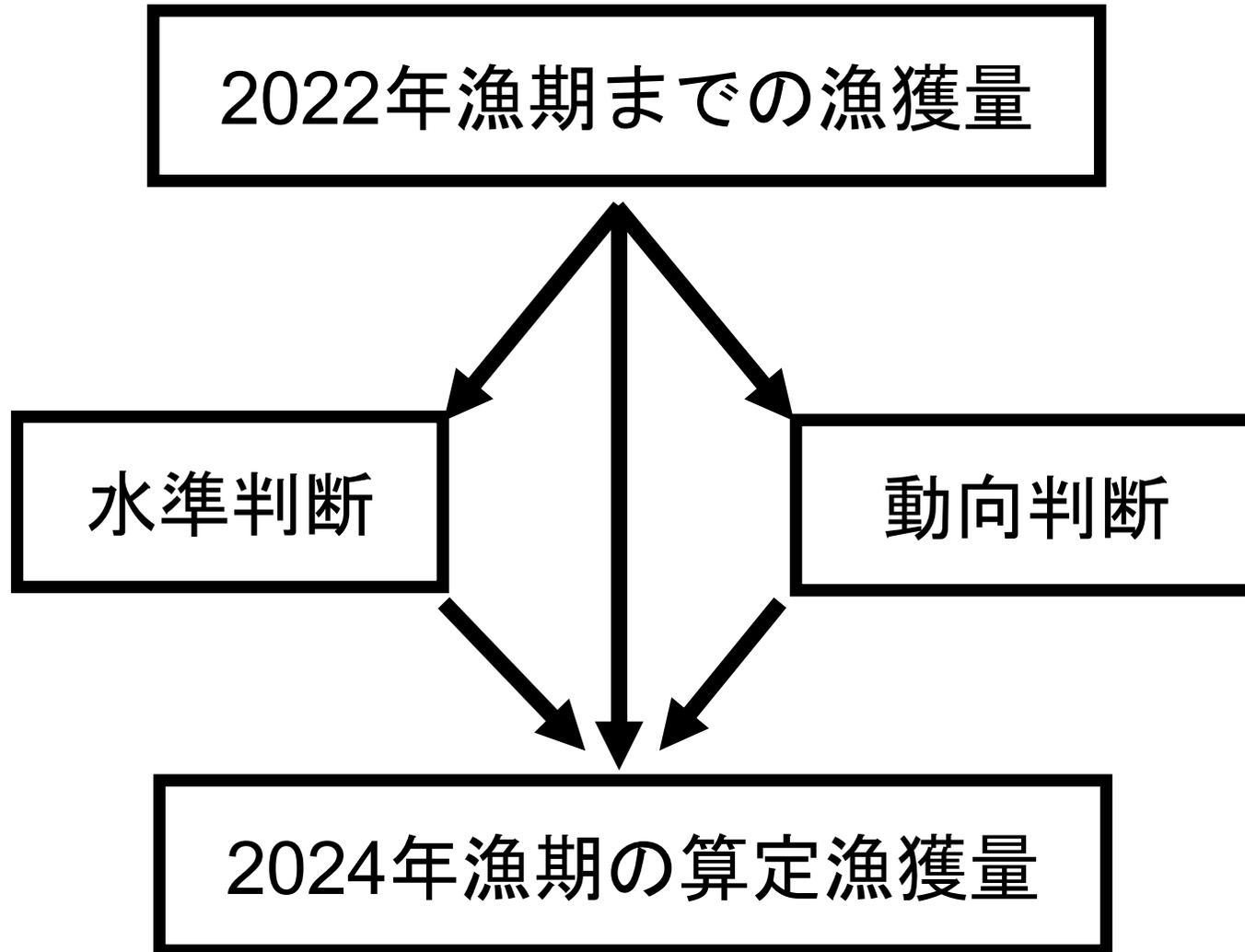
- ほぼ周年漁獲されるが、冬季～春季に漁獲量が多い

# 漁獲の動向

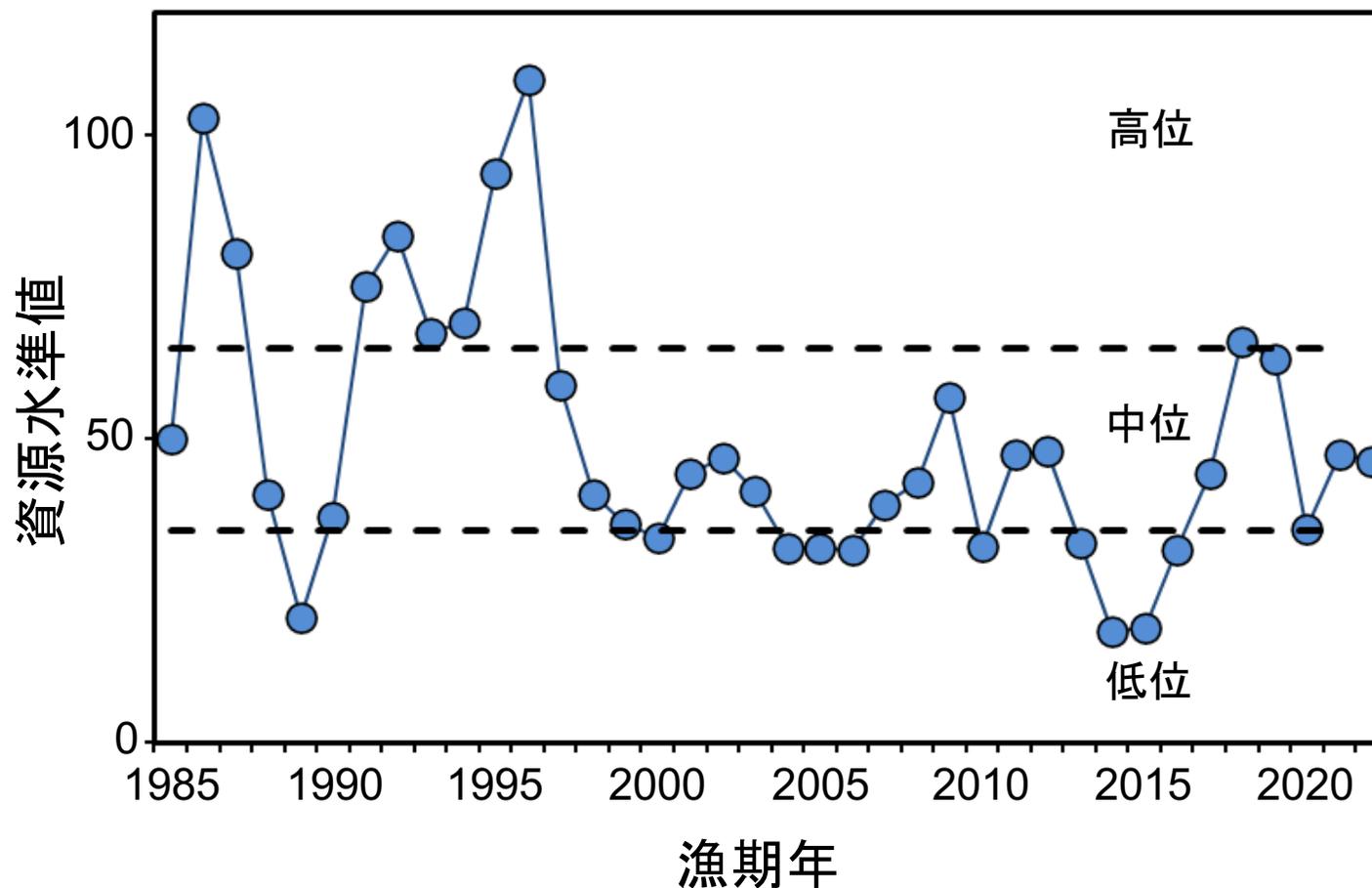


- 2022年漁期（4月～翌年3月）の漁獲量：3,489トン（2021年漁期：3,589トン）
- 沿岸漁業により漁獲され、特に刺網の漁獲が多い

# 資源評価の流れ



# 資源の動向



※水準区分 低位／中位：資源水準値35、中位／高位：資源水準値65  
(1985年漁期以降の漁獲量の平均値を50とし、各年の漁獲量の値を指数として算出)

- 資源水準：2022年漁期の資源水準値は46.2であり「中位」
- 資源動向：直近5年間（2018～2022年漁期）の漁獲量の推移から「減少」

# 資源評価のまとめ

- 資源水準は「中位」、動向は「減少」
- 漁獲量に基づいて資源状態を判断した

## 2024年漁期の算定漁獲量

管理基準	Target/ Limit	2024年漁期算定漁獲量 (千トン)	漁獲割合 (%)	F値（現状のF値からの 増減%）
0.9・Cave3-yr・1.06	Target	2.5	—	—
	Limit	3.1	—	—

- ABC算定規則2-2) により、 $ABC\ limit = \delta_2 \cdot Ct \cdot \gamma_2$ で計算
- $\delta_2$  : 0.9 (Caveを使用し、かつ低位水準の幅が狭くなる水準定義を使っていて、資源水準が中位である場合の推奨値)
- $Ct$  : Cave3-yr (直近3年間 (2020~2022年漁期) の平均漁獲量)
- $\gamma_2$  : 1.06 (直近3年の漁獲量の傾きと平均値から求まる係数)